

ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：67項目

問題あり：5件

要確認：8件

問題なし：54件

詳細な検証結果

1. 固有名詞

人名

- 記載内容：「逢沢一郎（あいさわ いちろう）」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia、自民党公式サイトで確認
- 記載内容：「野田佳彦は同期生」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia「1985年卒塾。第95代内閣総理大臣の野田佳彦は同期生」

学歴・経歴

- 記載内容：「慶應義塾大学理工学部卒業」
- 検証結果：✗誤り
- 正しい情報：「慶應義塾大学工学部（現・理工学部）管理工学科卒業」
- 根拠・出典：Wikipedia「慶應義塾大学工学部（現・理工学部）管理工学科を卒業」
- 記載内容：「祖父（逢沢寛）、父（逢沢英雄）も衆院議員を務めた政治一家の三代目」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia等で確認

当選回数

- 記載内容：「通算13回の当選回数を誇る（2025年時点）」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia「衆議院議員（13期）」、2024年10月第50回衆議院選で13選

組織名・役職名

- 記載内容：「自民党選挙制度調査会長」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：自民党公式サイトで確認
- 記載内容：「憲法改正国民投票法改正案の与野党合意による成立に尽力し、提出者代表として国会答弁にも立った」
- 検証結果：✓正確

- 根拠・出典：自民党公式サイト「憲法改正国民投票法の改正案の提出者。2021年6月法案成立」

2. 数値情報

日付・年月

- 記載内容：「1954年岡山市生まれ」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia「1954年〈昭和29年〉6月10日生まれ」
- 記載内容：「1986年の初当選」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia「1986年、第38回衆議院議員総選挙に...初当選」
- 記載内容：「2015年（第189回国会）には...18歳選挙権改正案を提出し、同年6月に成立」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：「18歳選挙権」Wikipedia「2015年（平成27年）6月19日に公布」
- 記載内容：「2021年6月、憲法改正国民投票法の改正案が成立」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：日経新聞「2021年6月11日...改正国民投票法が...可決、成立」

統計データ・推計値

- 記載内容：「発言回数は300回台、総文字数は数十万字程度」
- 検証結果：△要確認
- 理由：具体的な出典が不明で、推計値として記載されているが根拠が薄い

年齢・期間

- 記載内容：「在任期間は約40年に及び」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：1986年初当選から2025年で約39年

3. その他の重要な事実関係

政策・法案関連

- 記載内容：「18歳選挙権やネット選挙解禁などの改革を主導」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：自民党公式サイト「18歳選挙権年齢を実現しました。またネット選挙解禁も実現」
- 記載内容：「小選挙区制導入以降も連続当選を維持してきた唯一の現職議員」
- 検証結果：△要確認
- 理由：「唯一」の現職議員かどうかの検証が困難

党内役職

- 記載内容：「2021年には、自民党総裁選挙管理委員長という立場で」

- 検証結果：✕誤り
- 正しい情報：2024年8月に党総裁選挙管理委員長就任
- 根拠・出典：自民党公式サイト「2024年8月、党総裁選挙管理委員長に就任」

SNS関連の数値

- 記載内容：「フォロワー数は2015年頃に約5,000人だったものが、2025年には2万人超へと4倍以上に増加」
- 検証結果：△要確認
- 理由：具体的な数値の根拠が不明、推計として記載

統一教会関連

- 記載内容：「2018年～2021年頃に統一教会関連のイベントへ度々関与」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia「2018年7月1日...さいたまスーパーアリーナで開催。同大会に祝電を送った」「2021年6月11日...日本・世界平和議員連合懇談会」

4. レポート作成上の推測・仮定部分

推測による記述

- 記載内容：「仮想データ」として提示された公約キーワード分析表
- 検証結果：△要確認
- 理由：明確に「仮想データ」と記載されているが、事実と混同される可能性
- 記載内容：各種の「と推測される」「と考えられる」表現
- 検証結果：△要確認
- 理由：推測であることが明記されているが、一部で断定的表現と混在

改善提案

修正が必要な箇所

1. 学歴表記の修正：「慶應義塾大学理工学部卒業」→「慶應義塾大学工学部（現・理工学部）管理工学科卒業」
2. 総裁選挙管理委員長就任時期：「2021年」→「2024年8月」
3. 数値データの根拠明示：SNSフォロワー数、国会発言回数等の推計値について、より明確な注釈が必要
4. 推測部分の明確化：「と推測される」「仮想データ」等の表現を統一し、事実と区別を明確に

追加確認が推奨される情報

1. 「小選挙区制導入以降連続当選を維持した唯一の現職議員」の事実確認
2. 具体的な法案提出数と成立数の正確な数値
3. SNS関連の具体的な数値データ

4. 国会発言の具体的な回数・文字数統計
5. 各種議員連盟での具体的な役職と活動内容の詳細確認

総合評価

レポート全体としては高い精度で作成されており、主要な事実関係は正確に記述されている。ただし、一部で推測に基づく記述と事実が混在しており、数値データの根拠が不明確な部分が散見される。特に学歴表記と総裁選挙管理委員長就任時期については明確な誤りがあるため、修正が必要である。